



来た来た来たー！マックス吉岡

そのうちいつかは来ると思っていた。そんな予感を誰しもが持っていたに違いない。マックス吉岡、つねに決勝トーナメントに顔を出していたからだ。そして、その日がついに来た。北島康介の金メダルに日本中が沸いた前日の8月10日（日）板橋平和公園で第五期ほんこ王戦を開催した。

子どもはほんこが大好きだ。人の顔を見れば「ほんこやろ。」と寄ってくる。まあこれは自然なことだ。昔から遊びは取ったり取られたりだった。それにしても子どもの成長には瞠目せざるを得ない。予選を通過した12名を見ればそれがすぐわかる。順に挙げると、トップはレン、成増寺子屋の一期生だ。次いでデビル、成増コートロー、マックス吉岡、松ちゃん、ヒラケン、カゲ、トシ田口、怪鳥ギャオス、ルパン師岡、ハルク、とーさん成田の12人だ。

まずはレンがギャオスを破ったトシ田口を迎える。初代ほんこ王トシの強さは、レンだって百も承知だ。それでも堂々と渡り合う。さすがに1本取られたが、2本先取で準決勝へ進む。迎えるはマックス吉岡だ。自宅で鉄粉が飛び散らないようにビニールでカバーしながら加工しているというマックス、とーさんからたちどころに2本奪い、レンからも2本連取で決勝戦へ。圧倒的な強さだ。一方、カゲが絶好調だ。ルパンを蹴落とし、デビルを血祭りに上げ、ヒラケンを吹っ飛ばすと、マックスとの決勝戦へと進む。床はずしさえしなければこの強さだ。しかし、そのカゲの一枚上をいったのがマックスだった。ベーの走りがいいように二段削りにしたりと研究熱心なマックス、この日は勢いが違った。床はずしで1本失ったものの、カゲを見事に叩き潰し、3本先取で第五期ほんこ王の栄冠を勝ち取る。凧揚げも得意だというマックスは、地元浦安で子どもたちの人気者だ。大会の後子どもたちを並べほんこに興じる。「疲れたから帰ります。」一足先に公園を後にしたマックスの表情には、勝者だけが得られる満たされた笑顔があった。

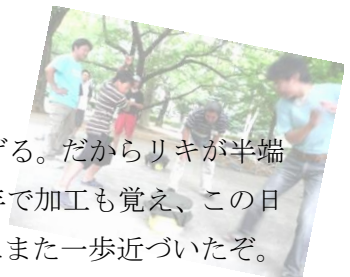


カゲ、マックス吉岡 おめでとう！



カゲ準優勝、角六王に続き二冠目の子ども王

カゲの強さは床はずしを恐れない強烈な引きだ。体全身をバネにし、一気に引き上げる。だからリキが半端じゃない、おとな顔負けだ。そして、研究熱心さではカゲも負けていない。たった半年で加工も覚え、この日使ったベーゴマはもちろん自作だ。ブレーキも程よく効き、スピードもある。総合優勝にまた一步近づいたぞ。



これが優勝ベーだ

マックス吉岡が使った優勝ベーがこれ。
「ハリなの？」と突っ込まれると、
すぐさま取り替えて勝つところはさすがだ。

